



# 本巣市 議会だより

第 32 号



▲動物ランド祭り  
世話をしている動物について発表しています



弾正小学校 授業で全員挙手をめざしています

## contents

9月議会開かれる	P 2
議会構成決まる	P 3
定例会で決まったこと	P 4
7議員が一般質問に立つ	P 7
委員会活動	P 11
市民の活動広場	P 12



▲動物博士になろう  
獣医さんからウサギのだっこの仕方を教わりました

# 9月議会開かれる

9月5日～9月29日、平成23年第4回定例会を開き、条例改正2件、補正予算3件、決算認定8件等を審議・決定しました。



## 副議長あいさつ

副議長 高橋 勝美

このたび議員各位のご推挙をいただき、副議長に選任され、身に余る光栄であります。議長の補佐役として、議会の活性化と円滑な運営に努めるとともに、行政と議会が両輪となって進んでいけるよう努めてまいります。

市の活性化には屋井工業団地の企業誘致を早く実現させ、又、市北部は少子高齢化と人口減が問題で、移住定住促進を積極的に行わなくてはならないと考えます。市民の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶いたします。



## 議長あいさつ

議長 遠山 利美

このたび議員各位多数のご推挙により議長に就任し、誠に光栄に存じますとともに、責任の大きさ、重さに身の引きしまる思いであります。

議会では、公平・中立な議会運営を心がけ、東日本大震災をはじめ、日本各地で起きた大災害を教訓とした、安心安全なまちづくりの実現を第一に、市民の皆様の負託にこたえることができますよう、努めていきたいと考えております。

今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。





## ■議会構成一覧表■

## 新しい議会構成決まる

9月定例会において、次のとおり議会構成が決まりました。

平成 23 年 9 月 29 日就任

議 長	遠山 利美	副議長	高橋 勝美
-----	-------	-----	-------

平成 22 年 9 月 30 日就任 (留任)

議会選出 監査委員	高田 文一
--------------	-------

平成 23 年 9 月 29 日就任

区 分	委員長	副委員長	委 員	
議会運営委員会 (委員数6名)	鵜飼 静雄	高橋 勝美	後藤 壽太郎	村瀬 明義
			中村 重光	道下 和茂

平成 23 年 9 月 29 日就任

常任委員会	総務企画委員会 (6名)	文教福祉委員会 (6名)	産業建設委員会 (6名)
委員長	若原 敏郎	後藤 壽太郎	安藤 重夫
副委員長	村瀬 明義	高田 文一	江崎 達己
委 員	遠山 利美	鵜飼 静雄	瀬川 治男
	上谷 政明	大西 徳三郎	臼井 悦子
	中村 重光	高橋 勝美	船渡 洋子
	道下 和茂	黒田 芳弘	鏝本 規之

平成 23 年 9 月 29 日就任

区 分	委員長	副委員長	委 員	
議会だより編集 特別委員会 (委員数5名)	鵜飼 静雄	江崎 達己	若原 敏郎	高橋 勝美
			黒田 芳弘	

平成 23 年 9 月 29 日就任

もとす広域連 合議会議員 (委員数5名)	後藤 壽太郎	村瀬 明義	道下 和茂
	高田 文一	船渡 洋子	

# 一般会計補正予算など決まる

## 本巣市簡易水道特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

**3039万円追加、総額5億4939万円**

宝珠ハイツ地内配水管布設替工事の増額 ..... 2370万円

## 本巣市水道事業会計補正予算（第1号）（全員賛成）

**水道事業収益・費用200万円追加、総額3億600万円**

## その他、議決された議案

### 条例改正

- ・市税条例等の一部改正（賛成多数）  
 寄付金控除の下限を5千円→2千円に引き下げ  
 上場株式等の譲渡課税の特例を2年延長
- ・災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正（全員賛成）

### 決算認定

- 22年度一般会計決算（賛成多数）

歳入額	歳出額	差引額
153億4652万円	144億1467万円	9億3185万円

- 22年度特別会計等決算（国保・後期高齢は賛成多数、他は全員賛成）

会計	歳入額	歳出額	差引額
国保事業勘定	39億6512万円	36億1852万円	3億4660万円
施設勘定	2億7096万円	2億6118万円	978万円
後期高齢者医療	2億8856万円	2億8460万円	396万円
老人保健医療	261万円	261万円	0円
簡易水道	8億86万円	7億4618万円	5468万円
農業集落排水	7億3744万円	6億8853万円	4891万円
公共下水道	5億1992万円	5億284万円	1708万円
水道事業損益	2億9354万円	2億8981万円	373万円

### 意見書

- ・介護職員処遇改善交付金制度の改善と継続を求める意見書（賛成多数）
- ・震災復興対策下における地方財政の安定・充実を求める意見書（全員賛成）
- ・真に地方の自由度を高めることができる一括交付金制度を求める意見書（賛成多数）
- ・電力の安定供給並びに地域独自の新エネルギー導入促進を求める意見書（賛成多数）
- ・森林・林業の再生に向けた継続的・安定的な財源確保を求める意見書（賛成多数）



# 太陽光発電に

# 新規補助

# 23年度

今議会で決まった主な内容をお知らせします。

## 本巣市一般会計補正予算（第2号）（全員賛成）

### 4億7879万円追加、総額151億710万円

歳入では、地方交付税の増額や22年度からの繰越金が増額になったため、学校教育施設整備基金や財政調整基金からの繰り入れを減額しました。

歳出では、太陽光発電にたいする補助金が新規に計上されました。

#### 歳入

\*（ ）内は補正後の予算額

地方特例交付金	△ 2448 万円
児童手当・子ども手当、減収補てん（住宅借入金等特別税額控除、自動車取得税交付金）交付額の決定	(6322 万円)
地方交付税	7 億 9856 万円
	(39 億 7856 万円)
国庫補助金	△ 2123 万円
弾正小、糸貫中改造工事の交付金不採択による減額（一般財源で対応）	
県補助金	2320 万円
県単かんがい排水事業費の追加採択	
前年度繰越金	3 億 1314 万円
	(8 億 2188 万円)

#### 歳出

情報基盤整備基金	3000 万円
災害時要援護者支援システム	389 万円
太陽光発電システム設置補助金	980 万円
補助額は、出力1kw当たり3万5千円。限度額14万円。	
排水路等改良工事	6150 万円
橋りょう維持経費	1360 万円
根尾・落合橋にかかる測量設計、修繕工事	
災害対策費	1009 万円
備蓄食料、簡易トイレ、発電機など。	
学校教育施設整備基金	3 億 3000 万円
幼児園建設等にむけ増額	

### 第3回臨時会（8月2日）審議結果（賛成多数）

工事請負契約の締結について（真桑小学校校舎増築工事）

契約金額：4億2420万円（消費税含む）

## ■国に対する意見書を提出■

## 議員提案による

## 意見書を可決

## 介護職員処遇改善交付金制度の改善と継続を求める意見書

高齢化の進展に伴い介護ニーズが増大しているが、介護職員の賃金水準は他業種と比べて低く、離職率が高く介護人材の確保が難しい状況である。

国は介護職員の処遇改善を目的に2012年3月までの時限立法で、介護職員処遇改善交付金制度を実施しているが、この制度は介護職員のみを対象としている。施設運営は様々な職員のチームワークで成り立っていることから、すべての職員を対象とすべきである。介護職員の雇用維持のため、交付金制度の改善と継続を要望する。

## 震災復興対策下における地方財政の安定・充実を求める意見書

政府は東日本大震災復興財源を確保するためとして国家公務員給与の削減を決定したが、政府の一部から、地方公務員についても給与削減をとの声が聞かれる。しかし、各地方自治体の自主的な判断でなく国主導で地方公務員給与の削減が決められるようなことがあれば、地方財政計画を通じて地方交付税の削減にも直結することになる。

よって国は、震災復興財源の確保にあたっては、地方への負担を強いることなく、地方財政の安定・充実を図るよう求める。

## 真に地方の自由度を高めることができる一括交付金制度を求める意見書

1. 地域自主戦略交付金の総額は、一括交付金化に伴い統合される国庫補助負担金の総額を下回らないこと。震災復興のために事業は、一括交付金とは別枠で措置すること。
2. 各府省をまたぐ事業間流用の一層の弾力化及び年度間流用を可能にするとともに、各府省の関与の排除をすすめること。
3. 次年度の制度概要及び各自治体への交付見込額を早期に示し、予見可能性を高めること。

## 電力の安定供給並びに地域独自の新エネルギー導入促進を求める意見書

1. 運転停止中の原子力発電所の再稼働のための安全基準を早期に示すこと。各発電所ごとの安全性確保の説明責任を果たすこと。
2. 原発事故の発生に備え、周辺都道府県が事故発生時に住民に迅速な対応を講じられるよう、事業者からの通報義務化など、原子力災害対策特別措置法を改正すること。
3. 太陽光、小水力、地熱などの新エネルギーの導入・普及のための支援制度の充実・強化、産学官連携による技術開発・規制緩和等による環境整備を図ること。

## 森林・林業の再生に向けた継続的・安定的な財源確保を求める意見書

戦後を中心に造林された森林は成熟期を迎え、資源の循環利用を通じた持続的な森林経営が求められている。

よって、国は23年度末終了の「森林整備加速化・林業再生事業」を延長・拡充するとともに、森林・林業再生に向けた取り組みを継続的・安定的に実施するための必要な財源を確保するよう求める。

**Q & A****7 議員が一般質問に立つ****高田 文一 議員****Q** 藤原市政1期の総括について

「元気で笑顔あふれる本巣市づくり」実現に向けた市政運営の取り組みの総括は。

**① 市政の総括は**

**A** 地域座談会等で多くの意見・提言をいただきました

藤原・市長

点検の結果を踏まえ、施策を実施してきました。

**② 対話重視と現場主義は**

**A** 要望・意見・提案を施策に反映した市政運営

意見交換で地域や産業界を把握するように努め、多くの市民との対話づくりで要望・意見・提案を施策に反映し、きめ細やかな市政運営をおこないたい。

**Q** 2期目への決意について

市長の任期も半年を切っていますが、1期の総括の上に立って、2期目への決意は。

**A** 意見をうかがいながら決断します

藤原・市長

未だ、進行中の事業、検討中の事業や施策が残されていて、

市民の皆様にお約束した市政運営の責任者として、方向づけや道筋をつける責任があり、多くの人の意見をうかがいながら決断します。

**Q** 住友大阪セメント(株)岐阜工場の「生産体制」について

「閉鎖も含めて生産体制を見直す」と発表がありました。市としての受け止めは

**A** 当分閉鎖はない

青木・副市長

工場側は「岐阜工場の閉鎖については明確な回答はできないし、2〜3年の間、工場の閉鎖はない」との回答でした。

**Q** 特別養護老人ホームの入所申込者数と年間の入退所者数は

**A** 本巣市民は231人申込み

浅野・健康福祉部長

6月1日現在、市外の方も含め536人が申込み、入退所者は平成22年度19人です。

**若原 敏郎 議員****Q** 地域の防災力の強化を

市が被災する主な災害は、地震と、台風や大雨による洪水です。命を守るのは、今住んでいる所の予測される災害の現実を知ることが大切と考えます。

**① 総合防災訓練の評価は**

**A** 訓練で組織の強化は達成

中島・総務部長

東日本大震災を受け、今年度は自主防災組織の強化に努めています。市総合防災訓練では、自身の濃い訓練が実施されました。

**② 洪水ハザードマップは市民に浸透していますか**

**A** 配布方法や頻度見直す

災害発生の危険性を認識していただき、自主避難を促す重要な資料と認識しています。

**③ 万が一の大災害時支援を受ける、受援時のマニュアルは**

**A** 県や社会福祉協議会等と連携

県の「支援物資滞留留防止マニュアル」が策定されれば、整合性を図り策定を検討します。

**④ 災害時要援護者登録への申し**

込み数と、今後の取り組みは

**A** 台帳登録者は46・9%

浅野・健康福祉部長

個別に登録を呼び掛けています。災害発生時には安否確認、救助活動が迅速にできる準備をしています。

**Q** 小・中学校の校舎の暑さ対策

地球温暖化によると言われる、最近の夏の猛暑は耐え難い。児童・生徒の健康管理や教育効果を維持する環境整備を。

**① 各校の暑さ対策、現状と問題は**

**A** 3年間で普通教室等に扇風機を設置してきました

川村・教委事務局長

全ての小・中学校で環境面への配慮の啓発を含め、緑のカーテンによる暑さ対策に取り組んでいます。

**② 暑さ対策の今後の取り組みは**

**A** 遮熱カーテンなどを検討

外の熱が室内に伝わりにくく、遮熱効果のあるレースカーテンや塗装を検討していきます。



鵜飼 静雄 議員



**Q** 非核平和都市宣言を

福島第一原発事故は、原子力が人間の手では制御できないことをしめしました。これを教訓に、本巢市も「非核平和都市宣言」をしては。(全国で85・9%の自治体が宣言。)

**A** 市民や議会の理解があれば

藤原・市長

市は9月1日、核兵器廃絶に賛同の世界4700超の市で構成の「平和市長会議」に加盟。さらに世界恒久平和の実現に寄与するため、「非核平和都市宣言」をおこないたいと考えます。

**Q** 放射線量測定器の活用は

8月から真正、根尾分庁舎で測定していますが、学校での測定など、さらなる活用の考えは。また、物質も測定可能な機器も上司と検討しては。

**A** 学校での測定を予定

高橋・市民環境部長

学校教育課で測定日を定め実施の予定です。新しい機器については、そのようにします。

**Q** 紙おむつ、生理用品も備蓄を

東日本震災の教訓から、ほ乳びん、紙おむつ、生理用品の備蓄も必要では。

**A** 見直しを図ります

中島・総務部長

**Q** 今後の市政運営の方針は

①市長のマニフェストについて、今後の方向・方針は

**A** これからも対話重視、現場主義を基本姿勢に

**Q** 具体的な手立ては

藤原・市長

対話主義を進める手立ては。また、職員の意欲と能力を向上させるため、自ら研修し市政に反映できる体制を。

**A** 多様な市民ニーズに対応

①市民との対話の機会を増やし、②出前講座や市政モニター制度などの公聴の機会を充実します。

質の高い行政運営のため「人材育成基本方針」を策定。また、幅広い職員が積極的に先進地視察できる仕組みを検討します。

江崎 達己 議員



**Q** 活力ある本巢市を目指した具体的な取り組みを

①PR看板の設置は

産業振興策として、本市の知名度の向上と特産品の販売向上にも繋がるPR看板を設置してはどうですか。

**A** PR方法の検討を進めていきたい

坂井・産業建設部長

大きな効果が期待されるため、看板の更新時期を見極めながら検討を進め、観光資源のPRに努める必要があり、特産品開発状況を踏まえPR方法の検討を進めていきたいと考えます。

②スタンプラリーの実施を

桜サミットが毎年持ち回りで各都市にて開催されています。サミットを大いに活用し観光振興に繋げるスタンプラリーを提案し、本市への誘客推進を図ってはどうですか。

**A** 有意義な提案と考えます

観光振興、誘客の推進において

て有意義な提案と考えますので、桜サミット加盟団体への提案を考えます。

**Q** 被災地支援並びに防災について

①東日本震災により原発事故を教訓とした対策として、放射線量測定器等三機種の導入を図ってはどうか。

**A** 安全・安心を図るための対応として測定値を公表

高橋・市民環境部長

毎週測定し、ホームページで公表、貸出も行っています。安全・安心に対応する一応の役割を果たしていると考えます。新機種は検討します。

②桜サミット加盟都市である茨城県日立市への災害支援を行うべきではないか。

**A** 要請があれば対応

中島・総務部長

要請等がありましたら積極的に支援していきます。





## 一般質問

### 鰐本 規之 議員



**Q** 多目的広場の土地売買は適正か

多目的広場は、基本的には市の財産です。

市の財産を処分するには、地方自治法にしたがってすることになっていきます。

平成17年7月に市の所有する土地の売買がおこなわれましたが、法を守って売買されたのか。

**A** 法に基づき適正に実施

藤原・市長

いままで何度も説明したように、法に基づいて、当時適正におこなわれ、議会でも了解を得ていると考えています。



**Q** 入札制度の見直しを

最低基準価格での入札が多くなっていますが、一部の人しか分からない最低基準価格を、誰かが情報を流しているのでは。

また企業努力により低価格で入札した業者が不利益にならないためにも、入札制度の見直しをしては。

**A** 制度に不都合はない

青木・副市長

職員が最低制限価格をもらすことは、断じてないと考えます。最低制限価格は、公共工事の品質確保、ダンピングにともなう下請業者へのしわ寄せ等々を未然に防止し、関係団体の健全な発展を期すものです。市としては、入札参加機会の平等性に配慮しており、いまのところ制度を不都合とは思っていません。

### 黒田 芳弘 議員



**Q** 教育現場の防災体制強化を

① 防災計画・避難体制の改善は

**A** 行政と学校が連携し安全確保

川村・教委事務局長

従来の火災・地震に加え、土砂・浸水害を想定し改善します。

② 避難マニュアルのチェックは

**A** 学校等災害対応フローを策定

③ 校内で一番安全な避難場所を

**A** 校庭に限らず状況に応じ誘導

④ 学校は地域の避難場所にも指定済みです。指揮体制や対応は

**A** 手順を定め適切な対応へ改善

⑤ 保護者への引き渡し基準は

**A** 一番安全な学校待機を優先

するように改善します

**Q** 命を守る避難場所を見つけて

① 避難場所の設定基準・安全性は

**A** より安全な避難所へ取り組み

中島・総務部長

危険を考慮し選定しています。完全に安全な避難所となると不足する事態が想定されます。

② 避難時の道路渋滞への対処は

**A** 車での避難回避を市民へ周知、相互協力で道路交通を確保

**Q** 地震に対するダムの安全性は

**A** 電力ダムは耐震設計です

坂井・産業建設部長

砂防堰堤では施設点検や調査を施設管理者が実施しています。

**Q** 新産業開発と観光化へ繋ぐ、エネルギー施策を

① 自治体が進める環境対策は付加価値を追求し、地域資源の活用で地域経済活性と雇用創出に

繋ぐ有効な施策を期待します

**A** 地域活性へ繋ぐ手法を研究

藤原・市長

相乗効果や付加価値を生み出すことは非常に重要です。

② 今夏の節電に対する総括は

**A** 庁舎内で10%の節電に成功

高橋・市民環境部長

③ 先行すべきは省エネでは

**A** エネルギー使用量削減を推進

④ 太陽光発電の現状と計画は

**A** 376件、3.3%を助成事業(10年間)で10%が目標です

⑤ 他の助成事業の可能性は

**A** 効果的な事業を検討します

高田・企画部長

9

船渡 洋子 議員



Q 安心安全のまちづくり

① AEDの設置状況と、設置場所の市民への周知状況は

A 41施設に設置

中島・総務部長

「くらしのガイドブック」に掲載し、周知を図っています。

② さらなる公共施設への設置拡充と貸し出し制度への取り組みは

A 2台貸し出し可能

現在、本巣・根尾公民館で貸し出しています。必要に応じて拡充に努めます。

③ バッテリー等の点検状況と使用方の講習は

A 定期的に更新

バッテリーは4年、パッドは2年で更新しています。防災訓練や研修会で訓練し普及に努めます。

Q 「救急医療情報キット」の活用

① 緊急通報システムに登録できる条件とは

A 1 独り暮らしの高齢者や緊急時の対応にリスクのある方

浅野・健康福祉部長

② 見守り推進につながるのでは

A 1 現行の事業を推進

現在、民生委員による見守り活動、福祉協力員による見守り、老人クラブによる友愛訪問活動を実施しています。

Q 高齢者への聴覚チェックで、認知予防の充実を

「聞こえはコミュニケーションの基本」であり難聴が認知症を引き起こす原因の一つです。気軽に簡易チェックを使って聴覚チェックを実施しては

A 1 検査能力に対する関係機関の検証を見守ります

浅野・健康福祉部長

高齢者に対しては健診の結果に注意し、受診を勧めていきます。また、補聴器の提供を案内し、認知症予防につなげていきます。

議会活動日誌

日時	場所	会議名等
8月2日(火)		全員協議会 臨時議会
8月4日(木)	大和園	もとす広域連合 老人福祉常任委員会協議会
8月5日(金)	幼児療育センター	もとす広域連合 療育医療衛生常任委員会協議会
8月10日(水)	もとす広域連合本庁	もとす広域連合 総務介護常任委員会協議会
8月17日(水)		総務企画委員会協議会
8月29日(月)		議会運営委員会 全員協議会
9月5日(月)		本会議(開会) 総務企画委員会協議会
9月7日(水)		議会改革検討委員会 議会運営委員会 全員協議会 本会議
9月15日(木)		本会議(一般質問) 議会改革検討委員会
9月21日(水)		総務企画委員会
9月22日(木)	真正分庁舎	文教福祉委員会
9月26日(月)	糸貫分庁舎	産業建設委員会
9月28日(水)		議会運営委員会 議会改革検討委員会 全員協議会・議会運営委員会 本会議(閉会)
9月29日(木)		越前市
10月1日(土)		「第60回たけふ菊人形」オープニングセレモニー
10月4日(火)		議会だより編集特別委員会
10月13日(木)		議会だより編集特別委員会
10月14日(金)		もとす広域連合 議会全員協議会
10月19日(水)		議会だより編集特別委員会
10月24日(月)		議会運営委員会
10月26日(水)		もとす広域連合 議会(開会)
10月28日(金)		もとす広域連合 議会全員協議会
10月31日(月)	岐阜市役所	岐阜地域肢体不自由児母子通園施設組合議会



## 委員会活動

### 総務企画

委員会

9月21日(水)

#### 審査付託案件

1. 本巢市税条例等の一部改正…………… **全員賛成**

#### 協議案件(関係部分)

1. 23年度一般会計補正予算(第2号)
  2. 22年度一般会計歳入歳出決算
- Q** 電源立地地域対策交付金はどのように使われているか。  
**A** 適所に予算を配分しており、今年度は根尾診療所に充当しました。

### 文教福祉

委員会

9月22日(木)

#### 審査付託案件

1. 本巢市災害弔意金の支給等に関する条例の一部改正…………… **全員賛成**
2. 22年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算…………… **賛成多数**
3. 22年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算…………… **賛成多数**
4. 22年度老人保健医療特別会計歳入歳出決算…………… **全員賛成**

#### 協議案件(関係部分)

1. 23年度一般会計補正予算(第2号)
  2. 22年度一般会計歳入歳出決算
- Q** 河川への不法投棄が目立つので、住民意識の向上を。  
**A** 河川担当課と協議して、看板をたてるなど河川の不法投棄防止の啓蒙に努めます。  
**Q** 全国大会等に出場する子どもたちへの激励について。  
**A** 今後も激励する気持ちを持って取り組んでいきます。

### 産業建設

委員会

9月26日(月)

#### 審査付託案件

1. 22年度簡易水道特別会計歳入歳出決算…………… **全員賛成**
2. 22年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算…………… **全員賛成**
3. 22年度公共下水道特別会計歳入歳出決算…………… **全員賛成**
4. 22年度水道事業会計決算…………… **全員賛成**

#### 協議案件(関係部分)

1. 23年度一般会計補正予算(第2号)
  2. 23年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)
  3. 23年度水道事業会計補正予算(第1号)
  4. 22年度一般会計歳入歳出決算
- Q** 個人住宅の耐震補強事業等のPR活動は今後どのようにおこなっていくのか。  
**A** 耐震補強工事費用120万円上限で補助率7/10と優遇されています。また、6月補正で計上した「住宅リフォーム助成事業」も併用することができるので、多くの方に申請いただけるよう周知していきます。  
**Q** 西部連絡道路事業の今後の整備スケジュールは。  
**A** 来年度にはおおむね整備が完了する予定です。



\*本巣市と東北をつなごう そして  
本巣市内のボランティアをつなごう\*

もとすつなぐ会



3月11日 東日本大震災が発生し、命が失われ、家が破壊され、故郷を離れなくてはならない人が、数え切れないほど多くでました。  
何かできないだろうか、何か支援をしたい……  
「未曾有の災害を受けた地へ熱い思いを……」と投げかけたところ、  
本巣市内で、何かをしたい、何とかしたい……という仲間の輪が広がりを始めました。  
つなぐ会の誕生です。

- 2011年6月23日 発足
- 7月16日～18日 岩手県釜石市へボランティア
- 7月29日 活動報告会
- 8月 被災地へ 軽トラック支援に協力
- 9月 仮設住宅へ本とさつまいもを送る
- 10月 仮設住宅へ布団の支援に協力
- 10月 高専祭でフリーマーケットに参加  
(フリマの収益金は、東北へ物資を送ったり、東北とつなぐために活用していきます。)



避難所(公園)の草刈りとがれきの撤去

軽トラック購入資金の一部を!

生活にうるおいをもたらす書籍を!

みなさんに、呼びかけながら  
つなぐ会の輪を広げています。

子ども会が収穫したサツマイモを!

仮設住宅で使えるふとんを!

被災地に行った仲間の感想(Tさん・61歳)

このたびの岩手県へのボランティアは遠かった。  
さぞ運転をされた方は、お疲れになったと思います。心より感謝致します。  
私も、ただただ座っているだけで結構疲れました。でも、その中で長い時間を皆さんとお話ができ、「つなぐ会」の字のごとく、本当に心までつながったようで、来てよかったと思いました。

(中略)

一人の力は小さいけれど、力を合わせれば大きな力に。  
皆がそんな気持ちになり、一刻も早く復興することをお祈り致します。

もとすつなぐ会 〈連絡先〉代表 市川 久子 〈TEL〉0581-34-2155  
ブログ <http://ameblo.jp/tunagukai2011/>

